

生ごみリサイクルを 推進しています

市では、家庭で出る生ごみの減量化を図るため、生ごみ処理器を購入された方に補助金を交付しています。対象は、市内在住で、容器式・電気式の生ごみ処理機器を購入され、市の税金が完納されている方です。



環境衛生課 コーナー

環境衛生課 0920 53 1111

補助額

生ごみ処理機（容器式）

1個につき購入金額の2分の1

上限額 3,000円（100円未満は切り捨て）

生ごみ処理機（電気式）

1個につき購入金額の3分の1

上限額 20,000円（1,000円未満は切り捨て）

補助金は、1世帯につき容器式は2個まで

電気式は1台までが補助対象です。

申請時には、印鑑、領収書、保証書、振込口座を持参してください。

広げよう 緑は地球の宝物



農林振興課 コーナー

3月1日から5月31日まで 『緑の募金活動期間』

森林は、私たちの大切な宝です。災害を防ぎ、豊かな土壌に水を蓄え、おいしい水を生みだします。樹々たちは、二酸化炭素を吸収し、おいしい空気をつくります。また、多くの生き物を育み、私たちの心身を癒し明日への活力を与えてくれます。緑の募金に寄せられた寄付金は、豊かな森林とのふれあいや次の世代に引き継ぐ森林づくりの活動に用いられています。

社団法人長崎県緑化推進協会では、県・市・町と共に平成21年3月1日から5月31日までを春期の「緑の募金活動期間」と定め、家庭募金など広く県内の緑の募金活動に取り組んでまいります。

みなさまの温かいご協力をお願いします。



募金による
事業は年間を
通じて行われ
ています。

緑の募金活動期間
3月1日～5月31日

森林の恵みに感謝の心

1000円以上



【問い合わせ先】農林振興課 0920 53 6111

地上デジタル放送の準備はお済みですか？

対馬市CATVでは、平成21年4月より地上デジタル放送を開始します。

地上デジタル放送では、きれいな映像が楽しめるだけでなく、データ放送により生活に必要な情報を得ることができます。まだデジタル放送に対応されていないご家庭はお早めに準備をお願いします。地上デジタル放送を視聴するためには、デジタル対応テレビまたはデジタルチューナー（チューナー内蔵の録画機器でも可）が必要です。

なお、アナログ放送が終了する平成23年7月までは、デジタル、アナログどちらでもご視聴いただけます。

厳原市街地（棧原、宮谷、日吉、天道茂、中村、田淵、今屋敷、大手橋、国分）は、平成21年6月に工事申請書を配布いたします。

厳原市街地以外の工事申請につきましては、平成21年4月1日より加入負担金（場合によっては工事費も別に負担）が必要となりますのでご了承ください。

【問い合わせ先】情報政策課 0920 53 6111

「わがまち再発見！」 シリーズ 文化財の紹介

吉田浦



数々の伝説が眠る吉田浦（峰町）

対馬の西海岸に北西に開口した三根湾があります。湾は最大幅0.5km、最深長4kmに達し、湾内の支湾には北岸に狩尾、三根、南岸に田（豊玉町）、賀佐、吉田の集落が形成されています。2500年前の弥生時代前期頃、湾奥は最深長5kmに達していたと推測されます。湾岸一帯は弥生時代の遺跡が多く、三根、吉田からは質、量ともに豊富な考古資料が出土しています。これらの考古資

料は峰町歴史民俗資料館に展示されています。

吉田浦では寒気が厳しく、無風のとき海面に氷が張ることがあります。地元の中学生在が島外から赴任してきた先生に海に氷が張っていたことを話すと、海に氷が張るはずはないとひどく叱られたという笑い話があります。

吉田浦には2つの瀬があります。1つは白嶽神社前の海中にある「鯨のおばき瀬」です。おばきとは伯母、叔母のことです。1年に一度おばき瀬を訪ねてくる鯨がいるそうです。峰町の青海では1年に1度吉田を訪ねる古族がいたということですから何らかの関連があると考えられます。

もう1つの瀬は峰町ファミリパークの前の海中にある「蛇瀬島」です。この瀬には瀬を七回り半する大蛇が住んでいたそうです。中世の頃、この大蛇に娘が呑み込まれてしまったので、父親は一計を案じ、娘の着物で包んだ油の樽を大蛇に呑み込ませ、火矢を大蛇の口に射込み焼き殺し、娘の敵を討ったという伝説があります。

峰町ファミリパークは埋立地に造られた公園です。展望台、草スキー、滑り台が設置してある小山は恵比須山とい

対馬市教育委員会 文化財課

0920(54)2341

ます。古代、恵比須山は海中に浮かぶ小島でした。この小島に弥生時代の遺跡があります。恵比須山遺跡と恵比須山西遺跡です。恵比須山遺跡は吉田川の河川工事で消滅しましたが、出土品は県指定文化財に指定されています。恵比須山西遺跡は箱式石棺墓2基が現場に保存されています。河口を挟んで南側の丘陵にトウ

トゴ山遺跡が所在し、その奥の塚に2世紀の中国の銅銭「貨泉」が出土した瀬の深遺跡があります。吉田川を遡って行くと左岸に天道の森があり、そこに縄文時代中期の吉田遺跡が所在し、対岸に弥生時代の大田原丘遺跡があります。天道の森と大田原丘は一つの丘陵でしたが江戸時代、水田開発に伴い川筋を変えるため分断されました。旧吉田川は複雑に蛇行しており、江戸時代から始まる数次の開発により現在の川筋が出来上がりました。大蛇の伝説も吉田川の蛇行と氾濫が下地となつて生まれた伝説とも考えられます。開発で完成したのが大田原の水田で旧川道はこの水田地帯の真ん中を蛇行し流れていたようです。

左岸には天諸羽命神社が鎮座しています。諸羽とはウロコのことを指しますので、海にまつわる神が祀られていたと考えられます。更に大田原水田地帯の最南

端、旧吉田小学校の周囲に弥生時代の大田原ヤマト遺跡があります。集落が尽きる南の山裾の丘陵地では弥生時代から古墳時代の土器が採集されていますので、古代の集落が地下に埋もれている可能性があります。

対馬の集落は海の彼方からやってきた人たちによって形成されたもので、島内部から形成された集落はありません。対馬の歴史研究は一時的ではありませんが海上からの視点を失い、陸上からの視点で歴史を研究する時代がありました。その弊害は今も続いています。

集落の成り立ち、対馬の成り立ちは我々の先祖が海民であったということを明らかにしてくれます。この明らかな歴史の自己認識の持続が、現在の対馬に必要であるうかと思われれます。

4月は未成年者飲酒防止強調月間です

未成年者の飲酒は、からだや心の発達が盛んな時期に悪影響をあたえます。

お酒は20歳になってから

福岡国税局・厳原税務署